

市長（作野広昭君）

道の駅及び野球場の建設用地の設置場所選定及び経緯につきましてお答えをいたします。

まず、道の駅については、マスタープランにおいて、ドライバーの休息場所や災害時の防災拠点として活用できることから、必要に応じて新たな施設の設置を検討することと記載しております。

場所選定の経緯としましては、道の駅整備検討協議会で協議を重ね、白山ろくにある既存の道の駅と連携したオール白山としての地域振興の拠点として位置づけ、さらに、広域からの来訪者へのアクセス性や北陸新幹線白山総合車両基地及び白山駅構想などの将来性を踏まえ、白山ろくへの広域観光の玄関口となるよう適地選定を行ったところであります。

マスタープランでは具体的な設置場所までは明示していないものの、白山市と県内外を結ぶ広域幹線道路であり、沿道サービス地区として位置づけている国道8号沿いで、県内外の自動車利用者に向けた情報発信、地域住民の生活利便性の向上が図られることから、マスタープランとの整合性がとれているものと考えております。

次に、野球場については、マスタープランにおいて、市民の健康増進や交流の拠点として既存施設の活用や新たな施設の設置などを検討することと記載しております。

場所選定に当たっては、交通アクセスが容易であること、必要な用地の確保が可能であること、財政面などを総合的に評価し、判断して候補地を選定しております。

野球場も道の駅と同様、具体的な設置場所までは明示していないものの、白山市と近隣市町を結ぶ主要幹線道路に位置づけている主要地方道金沢美川小松線沿いであり、交通利便性が高い地区であることに加え、災害時の防災拠点や避難地としても活

用できる場所であることから、マスタープランと整合がとれているものと考えております。